



2020 あけましておめでとうございます。 令和2年 元旦 坂田けんじ

令和に年号が変わり、皆さま方には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の統一地方選にて、県議会の場に4期(よたび)押し上げていただきましたことを感謝いたしますとともに、新しい年を迎え、愛知県のため、そして何よりもこの地域のために、全力投球を継続してまいります。市と県そして国への橋渡しや、この地域をさらによくするための予算をお願いするために、これまで以上に陳情活動にも力を入れてまいります。皆さまのご期待、ご要望に沿いながら一歩一歩進んでまいりますので、より一層の大きなご支援をお願い申し上げます。



「令和はアート(文化)の時代」

豊明市文化協会会長 小代 逸子さん



●昭和52年に豊明市文化協会が設立され、豊明の文化交流の創造と発展に貢献してきましたが、最近では会員の高齢化もあり数が減少傾向にありました。●そんな時期に私が会長を仰せつかりました。まずは会員の増加を目指し、これからの地域の在り方を坂田県議にお伺いし、当時750人前後だった会員数を今は約950人にまで押し上げ、今年はなんとか会員数を1,000名にしたいと活動しています。これも、新たに加入いただいた豊明歌謡協会の皆さんはじめ、たくさんの皆さんのご協力があることと感謝いたしております。●豊明は高齢者が元氣な街なんです。でも、会員の高齢化は避けては通れません。文化を通じてのつながりを、高校生をはじめ、若いお母さん方も参加できる環境づくりをしながら、豊明市とともに推進していきたいと思っております。●坂田県議にはいつも気にかけていただき、地域の文化交流を後押ししていただいております。高齢者などが、文化会館に来るための交通手段(足)をどうするかなど課題は多いですが、私も地域の発展のため、率先してコミュニケーションをとっていきますので、各方面への働きかけをより一層お願いしたいと思っております。期待しています。

●連合婦人会の流れをくみ、平成29年より「豊明市女性の会」と名称変更しました。現在、約80名の皆さんが少数精鋭でその活動を行っています。主な活動は、古戦場まつりでのパレード参加、夏まつりの盆踊りと浴衣の無料着付け、秋まつりの「花ひろば」を担当し、花のまちをアピール。独自の行事としては、十五夜頃に「月見夜楽」を開催し、勅使水辺公園で、月明かりの下、ランタンの光のみで音楽や舞踊を楽しみ、好評です。●会員の減少は、高齢化と女性の活動範囲が広がっていったことも理由の一つだと考えられます。女性の活動範囲が広がることは非常にいいことですが、女性の会の会員獲得にはいかにかなものかと。(笑)でも、無理に会員数を増やそうとは思っていません。次世代にうまく引き継いでいくには、会員外の方々が気兼ねなく参加できる企画を考え、発信し、それを通して女性の会のPRに役立てていければと思います。いつでもオープンに、門戸を開いています。(笑)●坂田県議にはお忙しい中、いつも行事に参加いただき、応援はもちろんのこと、いっぱい元気をもらっています。これからは、次世代の人材育成の面からも、「技術・考え方・能力開発」を中心とした女性の活動の場づくりを進めたいと考えています。そのお手伝いを是非お願いします。

「いつまでも輝く女性であり続けるために」

豊明市女性の会 会長 原 由美子さん



「令和」もやっぱり女性の時代です。

●昨年の4月より支部長をやらせていただき、現在は約140名の会員がいますが、女性部の活動を広く市民の皆さんに理解されていないように感じています。PR不足だからでしょうか。(笑)

●しかし、豊明まつりでの五平餅販売は女性部とJA職員が中心となり、地産米と女性部手作りの味噌だれで午前中には完売です。大勢の市民の皆さまに食べていただけることに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

●農業協同組合の女性部は農家の方でなくても入会できます。私もそうです。現在の部員は60代、70代の方が多く、一部80代もいます。これからは若い方々の入部を呼びかけるひと声活動が大切だと思っております。

●JA女性部は健全な食と農を次世代に引き継ぐという大きな目標があり、是非若い世代の皆さんと一緒に盛り上げていき、運動・栄養・休養・社会参加を大切にしたいです。

●坂田県議のお話はいつも簡潔で、よく理解できます。気持ちいいくらいです。県議には、より私たちの活動を知っていただき、また地域の皆さんがより安全・安心の暮らしができるよう、お力添えをお願いしたいと思っております。



「新たな仲間づくりを」

JAあいち尾東女性部 豊明支部長 木村 文柄さん

●豊明JCに入会して13年、今年は酒井雄矢理事長のもと、副理事長をさせていただき、奉仕・修練・友情を三信条とする青年会議所活動ですが、今年度は愛知ブロック協議会会長が女性でもあり、特に学ぶ機会が増えることと期待しています。

●豊明JCは今年21人のスタート。私は会員拡大担当の副理事長として、青木将平委員長と力を合わせ、10名の新入会員の獲得を目標とします。

●愛知ブロックでは約120名の女性会員がそれぞれのJCに在籍しています。女性だからといった意識はありませんが、女性特有の視点や目線を持って事業を企画、運営することは非常に大切だと思います。一人でも多くの女性会員を増やしたい、一緒に活動したいというのが今年の目標でもあります。

●坂田県議はJCのOBとして、常日頃から事業に参加いただきありがとうございます。OBとしての厳しいご指導もありがたく、会員の大きな目標となっています。これからも、健康に留意され、元氣よく私たちを引っ張ってってください。



「今こそ女性の番です」

2020年度 (一社)豊明青年会議所(JC)副理事長 古賀 万穂さん

「令和」も張り切って、市と県、県と国をつないで陳情活動に動き回ります。



世耕弘成自民党参議院幹事長と坂田けんじ

令和元年10月25日に、小浮正典豊明市長をはじめ豊明市議会議員の皆さんと国土交通省や財務省に要望陳情に、また文部科学省へも意見交換に伺いました。

- (陳情内容の概要)
1. 下水道施設の改築に係る国費の継続的かつ確実な財政支援(国交省・財務省)
 2. 農業集落排水施設及び大規模民間住宅開発による集中浄化槽を公共下水道へ統合するための国費の継続的かつ確実な財政支援(国交省・財務省)
 3. 外国人児童生徒等教育の現状と課題について意見交換(文科省)



左から三浦桂司市議会議長、小浮正典豊明市長、国交省水管理・国保全局 植松龍二下水道部長、鈴木淳司衆議院議員経済産業委員会筆頭理事、坂田けんじ



左から堀内ちほ市議、鶴岡真雄市議、坂田けんじ、小浮正典豊明市長、青木亮市議、国交省植松龍二下水道部長、毛受明宏市議、近藤郁子市議、鈴木淳司衆議院議員経済産業委員会筆頭理事、月岡修一市議、三浦桂司市議会議長、服部龍一市議、いとうひろし市議

